

# 1. 2017年度事業計画

## (1) 理事長基本方針



スローガン

必死に生きてこそ、  
その生涯は光を放つ  
～共に生き抜く、小山プライド～

一般社団法人 小山青年会議所  
理事長 吉新昇弘

我々は胸を張って活動しているだろうか。  
我々はこの現状に甘んじてはいないだろうか。  
地域の未来を語るその背中には、頼りにされているだろうか。

2007年に小山青年会議所に入会し、「明るい豊かな社会の実現」を目指す運動に身を置き、様々な経験や尊敬できる先輩諸兄の存在に自分自身も真似て、青年期の自分というものを形成してきました。初めは、日本をこうしたい、まちをこうしたい等の崇高な理念でのスタートでなかった為、組織を理解出来ず、正直好きとは言えなかったJCというものに、いつしか助けられ、時間が経つにつれ仕事とJCを両立し、いつの間にかJCが無ければ今の自分は存在していなかったと思う様になり、

「人との出会いは偶然ではなく必然。出会う人には出会うべくして必ず出会う。」

そんな言葉も今は説得力を持ち、自分を成長させてくれた組織への感謝の念を、会員拡大という形で次の世代へバトンを継承したい。

### 【共に学ぼう】

今、どれだけの方が自信を持って活動の内容を会社の仲間や家族に話しているだろうか。大切な時間を割き、送り出してくれる会社の仲間や家族は、我々に何を期待しているのでしょうか。全ては、我々が地域や企業の発展に寄与できる器を学び、大きな人財へとなるべく、送り出してくれているのではないだろうか。

『経営者の器以上の組織にはならない』

以前、JCを通して感銘を受けた言葉であるが、JCは様々な修練を与えてくれる場であり、青年経済人としてどの様にこの社会と向き合っていくか、そんな苦悩を共に考え、共に成長出来る機会もJCなのではないだろうか。

### 【地方創生 運動発信を】

小山市は、県内と比較しても若い世代が多く、「人と企業を呼び込む施策」によって人口も増加傾向にあるが、そのままもしなければ将来的に小山市においても人口減少社会の影響を受けることが考えられるだろう。地域の魅力を伝えるのは我々です。我々が行動を起こし、行政や他団体と手を取り合い、熱い活力ある小山を発信していきたい。地域社会と真正面から向き合い、地域づくりを問う好機に変えていきたい。

また、2016年から選挙権もこれまでの「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられ、若者の声も政治に反映される機会を得るだけでなく、これまで最も投票率の低い世代からのボトムアップによる一票によって、このまちを良くしたいという高まりを喚起していくためには、中立公正な立場であるJCの存在がこのまちに必要な不可欠であると考えます。

『JCがこの地域であってよかった』  
そんな風に想ってもらえる為に、青年としての英知と勇気と情熱を。

### 【子どもを想う】

一番身近にいる子どもが、この世に生まれて良かったと思って  
くれているのだろうか。

子どもは未来を明るく描いているのだろうか。

青少年育成は、我が子への深い愛情と、命がけて守り抜くという強い  
信念から始まると思います。地域に伝わる伝統や文化、地域に根付いた  
教育、それを通し、子ども達はこの地域で生きる喜びを感じ、育っ  
ていくのではないのでしょうか。

我々は今を生きる青年経済人であると同時に、多くは次代を担う子  
ども達の親であり、また子ども達を正しい方向へ導く責任世代である  
と思えます。

～暗いと不平を言うよりも自ら進んで明かりを灯しなさい。

誰かがやるだろうということは、誰もやらないということを知りな  
さい～

(マザー・テレサ)

全国的な会員数の減少も伴って、我々小山JCの組織も会員が減少  
し、弱体化しているという事は否めません。だからこそ小山JCの原  
点に立ち返らなければならない。

なぜこの地に小山JCはあり、誰の為に存在するのか。

なぜ47年前、先輩諸兄はこの地域にJCを創ろうとしたのか。

我々の『誇りある組織』を弱体化させず、加速させよう。

だからこそ、今後も継続できる組織とはどんなかたちなのかを考え、  
組織の軸としてそれを成し得ることができれば、私自身が多くの宝物  
を受け取ることができたように、メンバー一人ひとりにおいても「小  
山JCの一員で良かった」と、誇りを感じられるようになるのではな  
いでしょうか。

世のため、人のため、地域社会のために運動を展開していくために  
は、一人ひとりが能動的で、かつ情熱とプライドを胸に行動を起こし  
続ける事が重要であります。

傷を嘗め合う組織ではない。共に継続出来る組織へと変革する為、青  
年会議所活動を行って参りましょう。

## (2) 運動方針

### 【仲間づくり～会員拡大 仲間を増やせ～】

拡大会議を定期的に開催し、目標必達上期15人、下期5人の会員拡  
大をする。

会員各々が率先垂範し会員拡大出来る様に、小山青年会議所として  
JCの魅力伝える共通認識を持とう。メンバーに魅力があれば、必  
ず結果はついてくる。

### 【ひとづくり～自己研鑽～】

少し背伸びをした研修事業を行います。JAYCEEの志を元に、多  
くの人々の心を動かす事が出来る独立自尊の団体である最大のメリッ  
トを生かし、責任世代のリーダーとしての自己修練の場として、会員  
個々の人材育成事業を目指します。

### 【絆づくり～会員交流 楽しさを求めて～】

共に闘う同志の絆を深めるための会員交流事業を展開します。言  
いたい事を言いあえる仲間の絆は強く、どんな苦境にも立ち向かえる組  
織は、必ず継続へ向けて大きく強固な組織となる。

また、地域のイベント等にも積極的に参加し、地域交流も推進します。

### 【まちづくり～魅力の発信～】

まちづくり団体のJCとして、市民の声を行政へ届け、地域の活性化の為に活動し、地域に必要とされる事業を展開していきます。

2008年より継続事業の市民協議会は、今年度9回目となります。他の団体へスムーズに移行出来る様、今年度は準備の年度とします。

### 【地域の未来づくり～次世代への愛情～】

通年事業であるわんぱく相撲を開催します。また、子ども達の笑顔が見られる青少年育成事業も展開します。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、小山から日本全国へ発信できる青少年スポーツ事業を検討してみよう。

## (3) 委員会事業計画

### 会員拡大会議

副理事長 阿久津 治

三気(やる気、勇気、根気)を奮い立たせ活動する。  
今年度の会員拡大委員会では、会員を拡大する事はもちろん、岩井委員長の掲げるテーマ「不易と流行」のもと、古き良き伝統を守りつつ、新しい事にも挑戦しながら、少しでも地域の方々に小山青年会議所の魅力、活動を伝えるべく強い組織作り、絆作りに励みながら活動していきたいと思います。どうぞ一年間、宜しくお願い致します。

### 会員拡大会議事業計画

委員長 岩井 一博

#### 【委員会テーマ】

不易と流行

#### 【事業方針】

本年度、新たに新設されることになりました会員拡大会議では「不易と流行」のテーマのもと、小山青年会議所の古き良き伝統を守りつつ(不易)、若い自分たちだからこそ出来る事(流行)を盛り込み運営していきたいと思います。

入会歴の浅いメンバーが多い現状も踏まえ、まずは新入会員を受け入れる為の強い組織、体制づくりを進めていきます。また、昨年の会員数の減少に伴ってか、閉塞的なイメージがあります。そこで、他団体交流や青年会議所の若い力だから出来るイベント等を計画していきたいです。

理事長の運動方針でありますように、上期15人、下期5人の会員拡大を目指し1年間頑張っていきます。メンバーの皆様、ご協力の程よろしく願います。

#### 【事業計画】

1. 会員拡大

#### 【例会計画】

1. 3月 他団体交流
2. 8月 青年会議所PRイベント

#### 【委員会事業計画】

1. 会員拡大会議の開催(通年)

#### 【事業予算】

事業名	予算額
他団体交流	50,000円
青年会議所PRイベント	150,000円
会員拡大会議の開催	10,000円
合計	210,000円

## 輝く小山のプライド委員会

副理事長 大木 英憲

「輝く小山」を掲げた、当委員会では磯山貴志委員長を筆頭に、人材育成としての研修事業、アカデミー塾の運営を担当させて頂きます。青年会議所に所属をしている私たちは、20歳から40歳までと、地域社会を担う責任ある世代を迎え、輝く小山を創っていく世代であると確信しております。その為にも、歴史ある団体としてのプライドと、メンバー1人ひとりが輝きを放ち続けられるよう委員会メンバー一丸となって、全力で取り組んで参ります。皆様のご支援、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

## 輝く小山のプライド委員会事業計画

委員長 磯山 貴志

#### 【委員会テーマ】

互いを高めあう気持ちで、  
自分も小山もレベルアップ！

#### 【事業方針】

当委員会では、「互いを高めあう気持ちで、自分も小山もレベルアップ！」を委員会テーマに掲げて、事業を行ってまいります。地方創生が叫ばれる中で、企業活動の傍ら地域の為の活動を行うJCは、時代が求めているリーダーへと成長できる環境にいると感じます。地域社会を担う責任世代として、自らの企業活動がリーダーシップを取って地域へと良い影響を与えていける、その為の人材育成事業を実施していきます。

事業を通して互いを高めあっている中で、JCの魅力を発信することは、会員拡大の大きな原動力となります。地域の仲間たちを巻き込み成長し、小山を活性化させる。そんな姿を理想とします。

また、アカデミー委員会の設営では、JCに参画する事の意識を高め、「修練」「奉仕」「友情」の3信条のもと、次の世代を繋げていく環境づくりを行います。そして、アカデミー例会構築のなかで、JCの楽しさと達成感を伝え、明るく朗らかな団体である事を再確認してもらいます。

何よりも、JCメンバーの皆様の参加、協力が不可欠な事業ばかりでございます。何卒、一年間よろしくお願い申し上げます。

#### 【事業計画】

1. 研修に関する事業
2. アカデミー塾の運営
3. 会員拡大

#### 【例会計画】

1. 4月 研修に関する例会
2. 10月 アカデミー例会

#### 【委員会事業計画】

1. 2月～12月 アカデミー塾の運営
2. 7月 献血事業
3. 11月 献血事業
4. 3分間スピーチに関する事業

【事業予算】	
事業名	予算額
研修に関する事業	100,000円
アカデミー例会	100,000円
アカデミー塾の運営	0円
献血事業	2,000円
3分間スピーチに関する事業	5,000円
合計	207,000円

## ラージグロウス委員会担当

副理事長 長 伸久

本年度ラージグロウス委員会では、荒川委員長の掲げる『覚醒せよ～限界を超えてワンランクUP!!～』のテーマのもと、会員交流事業、灯の舞、前年度より始まりましたイベントへの参加、メンバーの皆様には、何かとご協力をお願いする事業が多くなると思いますが、その際は、皆様どうぞよろしく申し上げます。

荒川委員長、委員会メンバーのやりたい事が出来るよう尽力してまいります。吉新理事長の基本方針、運動方針の意に沿うような事業の一助となるよう委員会メンバー力を合わせ頑張ってまいります。

メンバーの皆さん一年間よろしく申し上げます。

## ラージグロウス委員会事業計画

委員長 荒川 純司

【委員会テーマ】

覚醒せよ♪～限界を超えてワンランクUP!!～

【事業方針】

今年度、当委員会は「覚醒せよ♪～限界を超えてワンランクUP!!～」をテーマに、私をはじめ委員会メンバー一人ひとりが担当事業等を通して、一歩前進の大成長を目標とします。その為には、委員会メンバーの結束・絆を最重要とし一人ももれなく楽しく活動してまいります。会員交流事業を担当させて頂くからには、小山青年会議所がより一層明るく、魅力的な団体と認識されるような例会を開催し、会員拡大に貢献していきたいと思っております。

また、前年度からスタートした地域イベントへの参加も進んで行い、地域交流を兼ねて、様々な方に小山青年会議所の勢いをアピールしたいと考えております。そして、他の各委員会事業にも積極的に協力して、小山青年会議所全体が盛り上がる為の起爆剤となるよう努力しますので、皆様どうか一年間よろしく申し上げます。

【事業計画】

1. 会員交流に関する事業
2. まちづくりに関する事業
3. 会員拡大

【例会計画】

1. 5月 会員交流に関する例会
2. 7月 灯の舞

【委員会事業計画】

1. イベントへの参加（通年）

【事業予算】

事業名	予算額
会員交流に関する事業	100,000円
灯の舞	50,000円
イベントへの参加	50,000円

## 伝統推進委員会

副理事長 永藤 秀明

本年度、伝統推進委員会では、毛塚委員長が掲げる、【継続は力なり～未来へ向かって～】をテーマのもと、わんぱく相撲、市民討議会、卒業式の担いになります。

これらの事業は、小山青年会議所が、毎年行う事業であります。委員長が、伝統を引き継ぎながら、質の維持に努めていくという、強い思いに応えるために、担当として、自分の経験を惜しみなく伝えて行きます。

また、これらの事業をきちんと精査し、ブラッシュアップできたらと考えております。

結びとなりますが、一年間メンバーの皆様、ご協力お願い致します。

## 伝統推進委員会事業計画

委員長 毛塚 伸幸

【委員会テーマ】

継続は力なり ～未来へ向かって

【事業方針】

「わんぱく相撲小山場所」「市民討議会」、これら2つの事業を通して、私たち、伝統推進委員会から小山青年会議所を盛り上げて行きたい所存であります。

伝統であるこれらの事業は、この先無限の可能性をもっている事業です。

その伝統を引き継ぐためにも、今後新規メンバー及びその他団体の支援も考え、より分かりやすく動きやすい事業、つまり、質の維持ができればよいと考えております。そしてこの大好きな小山市のさらなる魅力の発信を目指して活動していきたいと思っております。

また、この小山青年会議所を盛り上げてきてくださった先輩方に、「この委員会が卒業式の担当でよかったよ」と喜んでいただけるような事業にできるよう、全力で取り組んでいきたいと考えております。私たちはまだまだ未熟で粗削りな部分もありますが、一番熱い委員会になれるよう、邁進していきたいと思っております。

「自分に自信を持ちたい」

17年度理事が決まった時に、私は皆様の前でこのように言いました。

よって、これらの事業を必ず成功させて、自分に自信をつけたいと決意します。

1年間、よろしくをお願いします。

【事業計画】

1. 青少年育成に関する事業
2. まちづくりに関する事業
3. 会員拡大

【例会計画】

1. 6月 わんぱく相撲 小山場所
2. 9月 市民討議会
3. 12月 卒業式及び忘年会

【委員会事業計画】

1. 7月 わんぱく相撲全国大会に関する委員会事業

【事業予算】

事業名

予算額

まちづくりに関する事業	400,000円
青少年育成に関する事業	500,000円
卒業式及び忘年会	100,000円
合計	1,000,000円

## 事務局・財務局担当

専務理事 大橋 孝生

本年度事務局・財務局は、吉新理事長の基本方針、運動方針に基づき山本事務局長、永嶋財務局長と、力を合わせ円滑なロム運営ができるように、全力を尽くして参ります。

財政を立て直す事を常に意識して、前年度から引き継ぐ会員拡大にも積極的に取り組みます。吉新理事長の熱意が伝わるように一致団結し取り組んで参りますので、一年間どうぞ宜しくお願い致します。

## 事務局事業計画

事務局長 山本 雄大

【委員会テーマ】

「伝える」のではなく「伝わる」。そして「つながる」。

【事業方針】

2017年度小山青年会議所は、理事長以下3つの委員会と1つの拡大会議、そして事務局・財務局が組織されスタートとなりました。

「地域の振興」や、喫緊の課題である「メンバーの拡大」を促進するためには、各委員会での事業や小山青年会議所全体の活動がより活発に行われ、そして、小山青年会議所が魅力的な組織であることが周囲に自然と「伝わる」ことが重要です。

小山青年会議所の活動がより意義のある活動となるために、また、自分を成長させることのできる楽しく魅力的な組織だと周囲に「伝わる」ためには、各委員会の事業が雄健かつ円滑に進行することが必然です。それらを全力でサポートし、時には苦しくとも皆が楽しんで参加できるよう善を尽くすのが、事務局の役割と自負します。

「伝える」ことと「伝わる」ことの違いを常に意識して、各種情報の連絡等を円滑に行いつつ、事務局全員が熱意と目的意識をもって職責を果たし、理事会並びに各委員会を精一杯サポート致します。そして、本年度理事長の基本方針・運動方針のもとで、歴史ある小山青年会議所がより成長して次に「伝わる」（＝「つながる」）一助となるように尽力致します。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

【事業計画】

1. 基本資料・諸規定の作成
2. 定時総会の開催
3. 会員拡大
4. JCルームの管理
5. 会員情報に関する事業
  - (1) 会員名簿の作成・管理
  - (2) 追加シールの作成（新会員の情報の記載）
  - (3) 名刺の作成（各委員会、LOM情報等を掲載し会員の拡大や交流に役立てる）
6. ホームページ・facebookの運営
7. 理事会・三役会の設営（資料作成・発送・会場設営・議事録作成）
8. 出向者に関する事業
9. 新入会員入会証伝達式
10. 部会の管理
11. 商工会議所ニュースの掲載
12. 年賀状作成・郵送

13. JCI (ASPAC・世界会議への参加希望者に対する資料の提供)
14. 公益社団法人 日本青年会議所 (京都会議・サマーコンファレンス・全国会員大会)
15. 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区協議会
16. 公益社団法人 日本青年会議所 関東地区栃木ブロック協議会
17. 公式訪問 (会頭公式訪問並びにプロ長公式訪問において設営を行う)  
※14～17は諸会議への必要に応じた参加と、メンバーの参加意識の向上を図る。
18. 会員拡大

【例会計画】

1. 1月 第一回定時総会・新年会
2. 7月 第二回定時総会
3. 11月 第三回定時総会

【委員会事業計画】

1. 出向者に関する事業

【事業予算】

事業名	予算額
ホームページ作成運用	70,000円
会員情報に関する事業	1,000円
出向者に関する事業	30,000円
基本資料・諸規定の作成	250,000円
定時総会 (第一回～第三回)	60,000円
新年会	150,000円
合計	561,000円

## 財務局事業計画

財務局長 永嶋 浩太郎

【委員会テーマ】

財成再建 ～力を合わせ共に築こう～

【事業方針】

小山青年会議所の財政は、非常に厳しい状況にあります。このままの状態では、団体活動自体もできなくなってしまいます。まずは、財政の確保すなわち会員拡大を行い、資金を調達することが必要です。財政を立て直してより良い事業ができるよう邁進します。また、理事長が掲げる方針に沿った各委員会の事業計画が円滑に行われるよう支えていきます。

財務という立場から各委員会のメンバーの皆さまと共に力を合わせて取り組んでまいりますので、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

【事業計画】

1. 収支予算書、収支決算書の作成・報告
2. 年会費の請求並びに賛助会員への会費徴収
3. 各委員会の予算管理
4. 領収書の発行・管理
5. 財務状況の報告 (理事会等)
6. その他の財務に関する業務全般
7. 会員拡大